

1. 概要

平成29年度の活動及び平成30年度の活動予定について各機関から報告を行い情報共有を行った。また、各市町で取り組んでいる防災マップや防災教育、広範囲に浸水する恐れがある嘉瀬川や六角川における市町連携について活発な意見交換が行われた。

2. 実施状況

- 日時：平成30年5月29日（火）
- 場所：武雄河川事務所3階 会議室
- 出席者：佐賀市、唐津市、多久市、伊万里市、武雄市、小城市、大町町、
江北町、白石町、佐賀地方气象台、佐賀県、武雄河川事務所
関係機関約40名参加

会議状況



3. 議事内容

- ①平成29年度第2回協議会の議事概要の確認について
- ②防災マップの取り組みについて
- ③市町連携について
- ④防災教育について

4. 主な意見・コメント等

- 「避難勧告の発令等に着目したタイムライン」について、再度、確認いただき適切な運用を図られたい。
- 基準観測所以外の水位観測所に避難勧告等の判断の目安を設けていただきありがたい。
- 佐賀県で取り組んでいる橋梁等への水位レベル表示を増やして欲しい。
- 電柱などに洪水時の想定浸水深や実績浸水深を表示してほしい。
- 今後作成される「想定し得る最大規模」の降雨を前提とした洪水ハザードマップの普及・周知を図るため、地域主体の防災マップづくりは重要である。
- 広域連携としては、杵藤・藤津地区4町、唐津市を中心とした5市7町、九州市長会等での取り組みがされているが、九州北部豪雨等の被害を踏まえ、佐賀地域でも考えていく必要がある。
- タイムラインを各市町で作成しているが、国・県・气象台・市町の“流域”としてのタイムラインが必要だと思われる。
- 平成29年九州北部豪雨で支援を実施した経験を活かしたタイムラインを作成してはどうか。